

特殊な食物アレルギー

近年急増している 食物蛋白誘発胃腸炎(FPIES) について

令和7年度
都民アレルギー講演会
WEB配信

近年、新しいタイプの食物アレルギー「食物蛋白誘発胃腸炎（FPIES）」が急増しています。特に乳幼児に多く見られ、医療従事者を含めた社会的認知度の向上が求められています。この講演会では、最新情報とともに病気の特徴や対応方法等、臨床研究の最前線にいる専門医から分かりやすく解説します。



イメージキャラクター
「きいちゃん」

2月は「東京都アレルギー疾患対策推進強化月間」です

WEB配信期間

令和8年2月2日月10時から3月2日月まで

期間中、下記サイトにて動画を配信します

東京都アレルギー情報navi.

<https://www.hokeniryo1.metro.tokyo.lg.jp/allergy/effort/lecture.html>

東京動画 東京都公式動画チャンネル

<https://tokyodouga.metro.tokyo.lg.jp/>



視聴無料
申込み不要

※視聴に係る通信費は、
ご視聴者様の負担
となります。

講師

国立研究開発法人 国立成育医療研究センター
免疫アレルギー・感染研究部 部長

森田 英明 氏



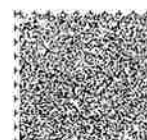
お問合せ

東京都健康安全研究センター 企画調整部 健康危機管理情報課 環境情報担当
電話：03-3363-3487（平日午前9時から午後5時まで）



主催

一人ひとりと生きるまち。





令和7年度 東京都在宅療養推進シンポジウム 「健康なうちから始めるフレイル予防」



新型コロナウイルス感染症の感染拡大や、夏の猛暑による外出控えの影響で、高齢者の方の体力や認知機能の低下、さらには社会的なつながりの希薄化が課題となっています。

今後、ますます重要になるフレイル予防における各職種の役割や具体的な取組を学び、理解を深めていただくことを目的に、シンポジウムを開催いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

概要

参加費
無料

事前申込制

日時

令和8年3月1日(日)

10:00～12:00 <<9:30配信開始>>

形式

Web会議システムを利用したオンライン開催
*Cisco Webex

対象

医療・介護関係者、行政職員及び都民

定員

950名 ※事前申込先着順

申込
期限

令和8年2月24日(火)まで

*申込フォームによりお申し込みください

申込方法・プログラムは裏面をご覧ください



公益
社団法人

東京都医師会



東京都



Web開催

オンラインによるライブ配信

※後日、新型コロナ後遺症ポータルに収録動画を掲載予定です。



東京都

令和7年度 第4回

コロナ後遺症

オンライン研修会

新型コロナウイルス後遺症の最新情報と ME/CFSの臨床

本研修会では、コロナ後遺症のME/CFS(※)の臨床について専門家から解説いただくとともに、後遺症研究の最新情報を共有いただきます。

(※) 筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群・・・長い期間(半年以上)にわたり強い疲労感が続き、全身の脱力などにより、日常生活を送るのが困難となる原因不明の病気

参加費
無料

日時

令和8年3月1日(日)

14:30 - 16:30 (配信開始14:00)

対象

医師、看護師、薬剤師などの
医療従事者等

プログラム

開会挨拶

かく みつお
賀来 満夫先生(東京iCDC所長、聖マリアンナ医科大学感染症学講座 特任教授、東北大学 名誉教授)

発表 1

新型コロナウイルス後遺症の動向アップデート

おさか けん
小坂 健先生(東京iCDC後遺症タスクフォース座長、東北大学大学院 教授)

発表 2

新型コロナウイルス後遺症におけるME/CFSの臨床

やまむら たかし
山村 隆先生(国立精神・神経医療研究センター神経研究所 特任研究部長)

質疑応答

※本研修会では、それぞれの講師への質問を事前に募集します。
研修会にて、いただいた質問のなかから、講師よりお答えいただきます。

申込方法

申込フォーム ▶ <https://www.d-wks.net/2025kouisyokousensyu/form/>

申込期限 ▶ 令和8年2月24日(火) 13時まで

申込後の流れ ▶ 申込時に登録いただいたメールアドレスへ、2月27日(金)に、
参加証メールを送付します。内容を必ずご確認ください。



申込フォーム
二次元コード

問合せ先

東京都 保健医療局 感染症対策部 調査・分析課 東京感染症対策センター担当 電話: 03-5320-4542



改正DV法が求める 医療関係者の積極的な役割

——精神的被害を見逃さない——

東京ウィメンズプラザでは、配偶者暴力(DV)被害者の支援に関わる職務関係者を対象に研修を実施しています。本研修は、法改正・施策により精神的DVの被害者支援における保健・医療の役割が大きく位置付けられたことを受け、被害の早期発見、支援に確実につなぐソーシャルワーク連携の修得、アセスメントツールや支援フローの活用を学びます。

◆オンライン研修(Zoom ミーティングライブ配信)◆

日時: 令和 8 年 3 月 10 日 (火) 13:15~16:50

受付開始:13:00

当研修参加者の事前・事後学習のために、研修前後1週間:3月3日(火)~17日(火)、
「配偶者暴力被害者支援のための研修用DVD(R6改訂版)」をYouTube 限定公開します

13:15 14:35	【講義1】改正DV法をふまえて、医療・保健職務関係者が知っておくべきこと ・ DVとは、どのような暴力か ・ 精神的被害の大きさになぜ注目するのか、 令和6年施行DV法改正の特徴 ・ 医療のできること—被害者・加害者が医療機関に訪れるとき ・ 対応を誤ると何が起こりうるか	北仲 千里 さん (NPO 法人全国女性シェルターネット共同代表)
14:35 14:50	【情報提供】医療関係者のための配偶者暴力被害者対応マニュアルについて	東京都生活文化局 男女平等参画課 職員
～ 休憩 10分 ～		
15:00 16:50	【講義2】被害・加害を発見・察知した現場は、何を基準に判断・行動できるか—スクリーニング、対応マニュアル、支援フローの実際— <講義> 15:00~16:20(80分) ・ さまざまなツールがある理由 —見えにくい状況への介入、二次被害の予防 ・ 活用できる／参考になるマニュアル、ツールは？ ・ DV被害が疑われるときの対応(事例) <セッション> 16:20~16:50(30分) ・ チームで対応し支援する—看護師、保健師、MSW(医療ソーシャルワーカー)、その連携先は、どのように動けるか ・ 質疑応答	加藤 雅江 さん (杏林大学保健学部教授。 精神保健福祉士、 社会福祉士) <セッション> 北仲 千里 さん 加藤 雅江 さん

●対象 保健・医療関係者(医療ソーシャルワーカー、医師、看護師、助産師、保健師等)、男女平等参画施策担当課およびセンター、相談員や職務として女性や子供の支援に関わる関係者、警察官

申込締切: 3月3日(火) ※ 申込みに際しては裏面の注意事項を必ずお読みください。

● 講師プロフィール ※ . . . ※ . . . ※ . . . ※ . . . ※ . . . ※ . . . ※ . . . ※

北仲 千里(きたなか ちさと)さん

NPO 法人全国女性シェルターネット共同代表

専門は社会学(ジェンダー論)。広島大学ハラスメント相談室准教授。NPO 法人性暴力被害者サポートひろしま代表理事、内閣府第6次男女共同参画基本計画策定専門調査会委員も務める。市区町村DV相談窓口、配偶者暴力相談支援センター、民間団体・シェルター、および医療機関の被害支援・連携についての全国的調査にも携わっている。



加藤 雅江(かとう まさえ)さん

杏林大学保健学部教授。精神保健福祉士、社会福祉士。

医療ソーシャルワーカーとして虐待やDV被害の院内支援フローやマニュアル作成に携わった。現在は地域の居場所、子ども・若者支援のNPOも運営。社会福祉法人子どもの虐待防止センター評議員、日本子ども虐待医学会代議員、NPO 法人居場所作りプロジェクトだんだん・ばあ代表ほか兼務。著書に『死にたい気持ちに触れるということーソーシャルワーカーが見ている景色』ほか。

※ . . . ※ . . . ※ . . . ※ . . . ※ . . . ※ . . . ※ . . . ※ . . . ※

参加申込方法

参加申込みには2つの手順が必要です

新しくなりました!

STEP1 メールアドレスの登録と認証

下記★URL から受信可能なメールアドレスを登録してください。

登録したアドレスにメールが届いたら、メール認証は完了です。

STEP2 参加申込み

STEP1で送信されたメールには、「申込フォームのURL」が掲載されています。

引き続き必要事項をご入力いただき、お申込みください。

※ 同一端末で複数名がオンライン受講する場合も、全員分お申込みください。



★参加申込はまずこちらから⇒ <https://logoform.jp/form/tmgform/1404156>

申込締切 3月3日(火)

こちらの二次元コードからも
ご登録いただけます。

申し込み完了後、受講まで

(1) ご登録アドレスに、配信URLや注意事項を掲載した「受講案内」メールを

3月5日(木)までにお送りします。

(2) つづいて、「申請に対する電子文書発行のお知らせ」メールをお送りします。

研修資料ダウンロードURLが掲載されています。事前にお手元にご用意ください。

※ メールが届かない、資料のダウンロードができない場合

3月9日(月)正午までに下記問い合わせ先にご連絡下さい。

研修当日のご連絡には対応できかねます、ご了承ください。

●注意事項

- ・第三者へのURLの転送、共有は固くお断りします。
- ・研修内容の無断録音・録画・スクリーンショット撮影は禁止です。
- ・後日のアーカイブ配信はございません。
- ・個人情報研修の運営目的のみに使用し、他の目的で使用することはありません。



●問合せ先

東京都生活文化局 東京ウィメンズプラザ 事業調整担当

〒150-0001 渋谷区神宮前 5-53-67

TEL: 03(5467)1980

Mail: wkoza@tokyo-womens-plaza.metro.tokyo.jp

